

多摩区観光ボランティアガイドによる、多摩区の魅力発見！モデルコース⑤

二ヶ領用水(宿河原堀)を歩く

宿河原堀から続く二ヶ領用水沿いに桜並木が続き、沿線には宿河原の養蚕の歴史を伝える常照寺、市の都市緑化植物園である緑化センターなどがあります。春の桜、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季を通じて楽しめるコースです。

距離：3.7km
時間：3時間
難易度：ふつう

コース概要

- 1 南武線・小田急線 登戸駅
- 2 宿河原堀と二ヶ領せせらぎ館
- 3 船島稻荷神社
- 4 二ヶ領用水の桜
- 5 常照寺
- 6 宿河原八幡宮
- 7 八幡下堀樋の碑と用水四百年記念碑
- 8 川崎市緑化センター
- 9 新明国上教会
- 10 久地合流点と出会い橋
- 11 南武線 久地駅

▼ 600m

▼ 200m

▼ 700m

▼ 500m

▼ 150m

▼ 500m

▼ 150m

▼ 300m

▼ 600m

▼ 100m

▼ 100m



凡例

- ルート
- オプショナルルート
- ① 主なみどころ
- トイレ
- コンビニ
- 公園・緑地

②③宿河原堰とニヶ領せせらぎ館・船島稻荷神社

宿河原堰はニヶ領用水宿河原線へ安定的に多摩川の水を供給するためにつくられました。昭和49年(1974年)の台風時に柏江側の堤防が決壊して大きな被害が出たために、平成11年(1999年)可動堰として完成。この堤の改築事業を機に地域と連携した川づくりの拠点として「ニヶ領せせらぎ館」が設けられ、多摩川の自然やニヶ領用水の歴史などを紹介しています。

少し下流の河原には治水の守護神としての船島稻荷神社があります。



④ニヶ領用水の桜

ニヶ領用水とは多摩川から中野島の上河原堰と宿河原の宿河原堰から取水している農業灌漑用水で、徳川家康が代官小泉次大夫に命じて14年の歳月をかけて慶長16年(1611年)に完成しました。江戸時代の稻毛領と川崎領に亘る総延長32kmで神奈川県最古の人工用水であり、平成24年度(2012年)土木学会「選奨土木遺産」に認定されています。

桜の名所としても知られ毎年春には桜まつりが開かれ多くの花見客で賑わいます。



⑤⑥常照寺と宿河原八幡宮

常照寺は賢智和尚を開山とし明応6年(1497年)の創立以来、四度の火災に遭い、今の本堂は、明和元年(1764年)に再建されました。川崎市の重要歴史記念物「松寿弁財天図」が所蔵されています。

境内の巨大な宝筐印塔は、土地の名主関山五郎衛門が寄進したもので、「養蚕実験録」を著述し養蚕業を実践した篤農家です。

常照寺の東側には宿河原八幡宮があります。かつては村の高札場があったところで、村の中心地でした。今はすっかり住宅地になっています。



⑦八幡下垣樋の碑と用水四百年記念碑

この垣樋は、洪水の時に、溢れた余分の水を堰の長池に流し、多摩川に戻すためのものでした。宝暦の絵図では、多摩川は大きく湾曲していてこの近くに、宿河原の取り入れ口があったと考えられています。なお、平成23年(2011年)、この場所に、ニヶ領用水竣工四百年の記念碑が建てされました。



⑧川崎市緑化センター

昭和11年(1936年)神奈川県農業試験場として設置。昭和24年(1949年)に川崎市に移管され、園芸技術普及場として発足しました。昭和45年(1970年)から緑化センターとして市民に開放されています。市民向けに園芸講習会や園芸相談が行われています。



⑩久地合流点と出合い橋

出合い橋▶

久地駅の手前で、上河原堰と宿河原堰で取り入れられた、二つのニヶ領用水の流れが合流しています。ニヶ領用水はここから一つの流れとなって、江戸時代から稻毛・川崎領を潤してきました。近くには出合い橋という人道橋があります。



《オプション》旧堤防と堰の長池跡

宿河原5丁目から東名高速道路までの旧土手が当時の多摩川の堤防です。このような断続した堤防を「霞堤」といいます。多摩川の氾濫で川筋が蛇行し、流路跡が広大な沼池(堰の長池)になりました。この堤は、北原白秋作詞の「多摩川音頭」にも歌われています。